

Q351 4択

分野: 接続 / リングスリーブ

電線相互をリングスリーブで接続する際に重要なことはどれか。

1. 適合するスリーブと専用工具で確実に圧着する
2. 絶縁被覆の上から圧着する
3. 圧着後の絶縁処理は不要である
4. 手で軽くねじるだけにする

答え・解説

正答: 1. 適合するスリーブと専用工具で確実に圧着する

接続は機械的・電氣的に確実に行い、必要な絶縁処理をする。

Q352 4択

分野: 接続 / ボックス

電線接続部の施工として適切なものはどれか。

1. 壁内に裸のまま埋め込む
2. ねじり接続だけで放置する
3. 接続部をボックス内に収める
4. 床下に露出充電部を残す

答え・解説

正答: 3. 接続部をボックス内に収める

接続部は点検・保護できるようボックス内に収める。

Q353 4択

分野: 金属管工事

金属管を切断した後に行う処理として適切なものはどれか。

1. 防護部品を一切使わない
2. 切断面のばりを取る
3. 管端で電線被覆を傷つけてもよい
4. 内面のばりを残す

答え・解説

正答: 2. 切断面のばりを取る

ばり取りやブッシングで電線被覆の損傷を防ぐ。

Q354 4択

分野: 金属管工事

金属管工事でボックスに管を取り付ける際に用いるものとして適切なものはどれか。

1. 絶縁テープだけ
2. リングスリーブだけ
3. 接地抵抗計だけ
4. ロックナットやブッシング

答え・解説

正答: 4. ロックナットやブッシング

ロックナットで固定し、ブッシング等で電線を保護する。

Q355 4択

分野: ケーブル工事

ケーブルを造管材に固定する目的として適切なものはどれか。

1. 外力やたるみによる損傷を防ぐ
2. 絶縁抵抗を0にする
3. 電圧を上昇させる
4. 周波数を変換する

答え・解説

正答: 1. 外力やたるみによる損傷を防ぐ

支持・固定によりケーブルを保護し、見た目と安全性も高める。

Q356 4択

分野: 接地工事

接地工事の目的として適切なものはどれか。

1. 電力量を減らすだけ
2. 負荷電流を常に増やす
3. 漏電時の感電・火災リスクを低減する
4. スイッチの表示を変える

答え・解説

正答: 3. 漏電時の感電・火災リスクを低減する

接地は故障時の危険電圧発生を抑えるために行う。

Q357 4択

分野: 施工場所 / 防水

湿気の多い場所での施工として適切な考え方はどれか。

1. 屋内用器具を必ずそのまま使う
2. 場所に適した防湿・防水性能の器具や工法を選ぶ
3. 接地を常に省略する
4. 絶縁被覆を薄くする

答え・解説

正答: 2. 場所に適した防湿・防水性能の器具や工法を選ぶ

使用環境に応じた器具選定と施工が必要。

Q358 4択

分野: 屋外施工

屋外に設置する器具で重視すべき事項はどれか。

1. 防水性能を無視すること
2. 接続部を裸のままにすること
3. 屋内専用であること
4. 雨水の侵入や紫外線・腐食への対策

答え・解説

正答: 4. 雨水の侵入や紫外線・腐食への対策

屋外では防雨・防水・耐候性を考慮する。

Q359 4択

分野: コード / 施工方法

コードを固定配線の代わりに壁内へ恒久的に埋設する施工はどうか。

1. 絶縁テープを巻けば適切
2. 負荷が小さければ必ず適切
3. 常に適切
4. 不適切

答え・解説

正答: 4. 不適切

コードは用途が限定され、固定配線には適切な電線・ケーブルと工法を選ぶ。

Q360 4択

分野: スイッチ施工

スイッチを取り付ける側として一般に適切なのはどれか。

1. 中性線と接地線をまとめた側
2. 接地線側
3. 接地側電線側だけ
4. 非接地側電線側

答え・解説

正答: 4. 非接地側電線側

照明回路などでは、負荷を切ったときに器具側が充電しにくいよう非接地側を開閉する。

Q361 4択

分野: コンセント / 極性

コンセントの極性確認が必要な理由として適切なものはどれか。

1. 接地側・非接地側の誤接続を防ぐため
2. 負荷容量を2倍にするため
3. 電線を細くするため
4. 接地抵抗を0Ωにするため

答え・解説

正答: 1. 接地側・非接地側の誤接続を防ぐため

極性誤りは安全性や機器使用上の問題につながる。

Q362 4択

分野: 端子接続

より線を端子に接続する際に適切な処理はどれか。

1. 半分だけ差し込む
2. 端子に合う圧着端子などで確実に接続する
3. 被覆の上から締める
4. 素線をばらばらのままねじに挟む

答え・解説

正答: 2. 端子に合う圧着端子などで確実に接続する

より線は素線のばらけや接触不良を防ぐ処理が必要。

Q363 4択

分野: 接続 / 差込形コネクタ

差込形コネクタを使うときに確認すべきことはどれか。

1. 工具箱に入っていたことだけ
2. 適合電線・むき寸法・差込み不足がないこと
3. 色が好みであることだけ
4. 古ければ何でもよいこと

答え・解説

正答: 2. 適合電線・むき寸法・差込み不足がないこと

コネクタは適合条件に従って確実に接続する。

Q364 4択

分野: 通線

電線管内に電線を通すときに避けるべき状態はどれか。

1. 通線前に管端を確認すること
2. 管内で電線を保護すること
3. 過度な張力や被覆損傷
4. 必要に応じて呼び線を使うこと

答え・解説

正答: 3. 過度な張力や被覆損傷

通線時は被覆損傷・曲げ過ぎ・引張り過ぎに注意する。

Q365 4択

分野: 合成樹脂管工事

合成樹脂管工事で注意すべき事項として適切なものはどれか。

1. 金属管と同じように必ず接地する
2. 管端保護は常に不要
3. 熱や機械的損傷を受けやすい場所への配慮
4. 日光や熱を一切考慮しない

答え・解説

正答: 3. 熱や機械的損傷を受けやすい場所への配慮

合成樹脂管は材料特性に応じた施工が必要。

Q366 4択

分野: 金属管工事 / 接地

金属管工事で接地を考慮する理由として適切なものはどれか。

1. 電線を細くできるため
2. 管を軽くするため
3. 金属部分の漏電時危険を低減するため
4. 周波数を変えるため

答え・解説

正答: 3. 金属部分の漏電時危険を低減するため

金属製外被や管は故障時に危険電圧を持つおそれがあり、接地で保護する。

Q367 4択

分野: 器具取付

照明器具を取り付ける際の基本として適切なものはどれか。

1. 天井材の強度を確認しない
2. 器具の質量や取付場所に適した支持方法にする
3. 電線だけで器具を吊る
4. ねじ1本で常に十分とする

答え・解説

正答: 2. 器具の質量や取付場所に適した支持方法にする

落下防止のため、器具の重さと取付下地に合った固定が必要。

Q368 4択

分野: 絶縁処理

施工後に接続部へ絶縁処理を行う目的はどれか。

1. 短絡・感電を防ぐ
2. 電圧を上げる
3. 電線を細くする
4. 電流を増やす

答え・解説

正答: 1. 短絡・感電を防ぐ

露出導体を絶縁し、短絡・感電を防ぐ。

Q369 4択

分野: 電線加工

電線の心線に傷をつけた場合の扱いとして適切なものはどれか。

1. 接続不良や断線の原因になるため適切にやり直す
2. 少しなら必ず放置する
3. 負荷が小さければ問題ない
4. 絶縁テープだけで必ず十分

答え・解説

正答: 1. 接続不良や断線の原因になるため適切にやり直す

心線傷は発熱・断線につながるため、施工品質上問題。

Q370 4択

分野: 接地工事

接地線の接続で重要なことはどれか。

1. ねじを緩めたままにする
2. 見えない場所なら未接続でよい
3. 確実に接続し、容易に外れないようにする
4. 絶縁被覆の上から締める

答え・解説

正答: 3. 確実に接続し、容易に外れないようにする

接地線は保護機能に関わるため、確実な導通が必要。

Q371

○ ×

分野: 接続

電線接続部は、原則として点検できるボックス内などに収める。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答: 1. ○

接続部の保護と点検性を確保する。

Q372

○ ×

分野: リングスリーブ

リングスリーブは、素手で軽くつぶせば十分である。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答: 2. ×

専用圧着工具で確実に圧着する必要がある。

Q373

○ ×

分野: 金属管工事

金属管の切断後、ばりを残すと電線被覆を傷つけるおそれがある。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答: 1. ○

管端処理は被覆保護のため重要。

Q374

○ ×

分野: スイッチ

スイッチは一般に非接地側電線を開閉するように接続する。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答: 1. ○

負荷を切ったときの安全性を高める。

Q375

○ ×

分野: 施工場所

湿気の多い場所では、場所に適した器具・工法を選定する必要がある。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答: 1. ○

環境条件に応じた施工が必要。

Q376

○ ×

分野: コード

コードは、固定配線の代用としてどこでも壁内に埋設できる。

-
- ×

答え・解説

正答: 2. ×

固定配線には適切な配線材料と工法を用いる。

Q377

○ ×

分野: 接続

電線の接続では、接触不良が発熱の原因になることがある。

-
- ×

答え・解説

正答: 1. ○

接触抵抗が大きいと発熱につながる。

Q378

○ ×

分野: 接地

接地工事は、漏電時の危険を低減する目的がある。

-
- ×

答え・解説

正答: 1. ○

感電・火災リスク低減に関係する。

Q379

○ ×

分野: 屋外施工

屋外器具では、防雨・防水性能を確認する必要がある。

-
- ×

答え・解説

正答: 1. ○

雨水の侵入対策が必要。

Q380

○ ×

分野: 電線管

電線管の管端処理は、通線する電線の保護に関係する。

-
- ×

答え・解説

正答: 1. ○

被覆損傷防止のため。

Q381

○ ×

分野: 端子接続

より線は、端子から素線がばらけても問題ない。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答: 2. ×

短絡・接触不良の原因になるため不適切。

Q382

○ ×

分野: 接続

差込形コネクタは、適合する電線サイズを確認して使う。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答: 1. ○

適合外使用は接続不良の原因になる。

Q383

○ ×

分野: 器具取付

照明器具は、器具の質量に合った方法で支持する。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答: 1. ○

落下防止に必要。

Q384

○ ×

分野: 電線加工

ケーブルの被覆を傷つけたまま施工しても、絶縁テープを軽く巻けば常に合格である。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答: 2. ×

損傷程度によりやり直しが必要。安易な放置は不適切。

Q385

○ ×

分野: 接地

金属部分は、漏電時に危険電圧を生じることがある。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答: 1. ○

接地などの保護対策が重要。

Q386 4択

分野: 施工方法

屋外コンセントを施工するときの施工として適切なものはどれか。

1. 充電部を露出したままにする
2. 防雨形など使用場所に適した器具を選ぶ
3. 心線や被覆の損傷を確認しない
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 2. 防雨形など使用場所に適した器具を選ぶ

屋外コンセントを施工するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q387 4択

分野: 施工方法

湿気の多い場所で施工するときの施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. 適合工具や適合材料を確認しない
3. 充電部を露出したままにする
4. 防湿・防水性能や接地の必要性を確認する

答え・解説

正答: 4. 防湿・防水性能や接地の必要性を確認する

湿気の多い場所で施工するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q388 4択

分野: 施工方法

通線作業を行うときの施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. 充電部を露出したままにする
3. 電線被覆を損傷しないよう過度な張力を避ける
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 3. 電線被覆を損傷しないよう過度な張力を避ける

通線作業を行うときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q389 4択

分野: 施工方法

端子ねじを締め付けるときの施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. 充電部を露出したままにする
3. 緩みや差込み不足がないよう確認する
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 3. 緩みや差込み不足がないよう確認する

端子ねじを締め付けるときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q390 4択

分野: 施工方法

ケーブルを支持するときの施工として適切なものはどれか。

1. 適合工具や適合材料を確認しない
2. 心線や被覆の損傷を確認しない
3. 充電部を露出したままにする
4. たるみや外力による損傷を防ぐよう固定する

答え・解説

正答: 4. たるみや外力による損傷を防ぐよう固定する

ケーブルを支持するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q391 4択

分野: 施工方法

金属管を切断した後の施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. ばり取りを行い、必要に応じてブッシングなどで電線を保護する
3. 適合工具や適合材料を確認しない
4. 充電部を露出したままにする

答え・解説

正答: 2. ばり取りを行い、必要に応じてブッシングなどで電線を保護する

金属管を切断した後は、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q392 4択

分野: 施工方法

VVFケーブルの外装をはぎ取るときの施工として適切なものはどれか。

1. 心線の絶縁被覆や導体に傷をつけない
2. 適合工具や適合材料を確認しない
3. 充電部を露出したままにする
4. 心線や被覆の損傷を確認しない

答え・解説

正答: 1. 心線の絶縁被覆や導体に傷をつけない

VVFケーブルの外装をはぎ取るときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q393 4択

分野: 施工方法

リングスリーブ接続の後の施工として適切なものはどれか。

1. 圧着状態を確認し、必要な絶縁処理を行う
2. 適合工具や適合材料を確認しない
3. 心線や被覆の損傷を確認しない
4. 充電部を露出したままにする

答え・解説

正答: 1. 圧着状態を確認し、必要な絶縁処理を行う

リングスリーブ接続の後は、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q394 4択

分野: 施工方法

接地線を器具へ接続するときの施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. 緩みがないよう確実に接続する
3. 充電部を露出したままにする
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 2. 緩みがないよう確実に接続する

接地線を器具へ接続するときには、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q395 4択

分野: 施工方法

アウトレットボックス内で接続するときの施工として適切なものはどれか。

1. 適合工具や適合材料を確認しない
2. 心線や被覆の損傷を確認しない
3. 接続部を無理なく収め、絶縁処理を確実にする
4. 充電部を露出したままにする

答え・解説

正答: 3. 接続部を無理なく収め、絶縁処理を確実にする

アウトレットボックス内で接続するときには、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q396 4択

分野: 施工方法

基礎確認として、屋外コンセントを施工するときの施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. 適合工具や適合材料を確認しない
3. 防雨形など使用場所に適した器具を選ぶ
4. 充電部を露出したままにする

答え・解説

正答: 3. 防雨形など使用場所に適した器具を選ぶ

屋外コンセントを施工するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q397 4択

分野: 施工方法

基礎確認として、湿気の多い場所で施工するときの施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. 適合工具や適合材料を確認しない
3. 充電部を露出したままにする
4. 防湿・防水性能や接地の必要性を確認する

答え・解説

正答: 4. 防湿・防水性能や接地の必要性を確認する

湿気の多い場所で施工するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q398 4択

分野: 施工方法

基礎確認として、通線作業を行うときの施工として適切なものはどれか。

1. 適合工具や適合材料を確認しない
2. 充電部を露出したままにする
3. 心線や被覆の損傷を確認しない
4. 電線被覆を損傷しないよう過度な張力を避ける

答え・解説

正答: 4. 電線被覆を損傷しないよう過度な張力を避ける

通線作業を行うときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q399 4択

分野: 施工方法

基礎確認として、端子ねじを締め付けるときの施工として適切なものはどれか。

1. 緩みや差込み不足がないよう確認する
2. 適合工具や適合材料を確認しない
3. 充電部を露出したままにする
4. 心線や被覆の損傷を確認しない

答え・解説

正答: 1. 緩みや差込み不足がないよう確認する

端子ねじを締め付けるときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q400 4択

分野: 施工方法

基礎確認として、ケーブルを支持するときの施工として適切なものはどれか。

1. たるみや外力による損傷を防ぐよう固定する
2. 充電部を露出したままにする
3. 適合工具や適合材料を確認しない
4. 心線や被覆の損傷を確認しない

答え・解説

正答: 1. たるみや外力による損傷を防ぐよう固定する

ケーブルを支持するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q401 4択

分野: 施工方法

基礎確認として、金属管を切断した後の施工として適切なものはどれか。

1. ばり取りを行い、必要に応じてブッシングなどで電線を保護する
2. 充電部を露出したままにする
3. 心線や被覆の損傷を確認しない
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 1. ばり取りを行い、必要に応じてブッシングなどで電線を保護する

金属管を切断した後は、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q402 4択

分野: 施工方法

基礎確認として、VVFケーブルの外装をはぎ取るときの施工として適切なものはどれか。

1. 心線の絶縁被覆や導体に傷をつけない
2. 心線や被覆の損傷を確認しない
3. 充電部を露出したままにする
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 1. 心線の絶縁被覆や導体に傷をつけない

VVFケーブルの外装をはぎ取るときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q403 4択

分野: 施工方法

基礎確認として、リングスリーブ接続の後の施工として適切なものはどれか。

1. 圧着状態を確認し、必要な絶縁処理を行う
2. 充電部を露出したままにする
3. 心線や被覆の損傷を確認しない
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 1. 圧着状態を確認し、必要な絶縁処理を行う

リングスリーブ接続の後は、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q404 4択

分野: 施工方法

基礎確認として、接地線を器具へ接続するときの施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. 緩みがないよう確実に接続する
3. 充電部を露出したままにする
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 2. 緩みがないよう確実に接続する

接地線を器具へ接続するときには、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q405 4択

分野: 施工方法

基礎確認として、アウトレットボックス内で接続するときの施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. 接続部を無理なく収め、絶縁処理を確実にする
3. 充電部を露出したままにする
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 2. 接続部を無理なく収め、絶縁処理を確実にする

アウトレットボックス内で接続するときには、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q406 4択

分野: 施工方法

アプリ演習用の短問として、屋外コンセントを施工するときの施工として適切なものはどれか。

1. 適合工具や適合材料を確認しない
2. 防雨形など使用場所に適した器具を選ぶ
3. 心線や被覆の損傷を確認しない
4. 充電部を露出したままにする

答え・解説

正答: 2. 防雨形など使用場所に適した器具を選ぶ

屋外コンセントを施工するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q407 4択

分野: 施工方法

アプリ演習用の短問として、湿気が多い場所で施工するときの施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. 防湿・防水性能や接地の必要性を確認する
3. 充電部を露出したままにする
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 2. 防湿・防水性能や接地の必要性を確認する

湿気が多い場所で施工するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q408 4択

分野: 施工方法

アプリ演習用の短問として、通線作業を行うときの施工として適切なものはどれか。

1. 電線被覆を損傷しないよう過度な張力を避ける
2. 心線や被覆の損傷を確認しない
3. 充電部を露出したままにする
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 1. 電線被覆を損傷しないよう過度な張力を避ける

通線作業を行うときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q409 4択

分野: 施工方法

アプリ演習用の短問として、端子ねじを締め付けるときの施工として適切なものはどれか。

1. 緩みや差込み不足がないよう確認する
2. 充電部を露出したままにする
3. 心線や被覆の損傷を確認しない
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 1. 緩みや差込み不足がないよう確認する

端子ねじを締め付けるときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q410 4択

分野: 施工方法

アプリ演習用の短問として、ケーブルを支持するときの施工として適切なものはどれか。

1. 適合工具や適合材料を確認しない
2. たるみや外力による損傷を防ぐよう固定する
3. 充電部を露出したままにする
4. 心線や被覆の損傷を確認しない

答え・解説

正答: 2. たるみや外力による損傷を防ぐよう固定する

ケーブルを支持するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q411 4択

分野: 施工方法

アプリ演習用の短問として、金属管を切断した後の施工として適切なものはどれか。

1. 充電部を露出したままにする
2. 適合工具や適合材料を確認しない
3. 心線や被覆の損傷を確認しない
4. ばり取りを行い、必要に応じてブッシングなどで電線を保護する

答え・解説

正答: 4. ばり取りを行い、必要に応じてブッシングなどで電線を保護する

金属管を切断した後は、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q412 4択

分野: 施工方法

アプリ演習用の短問として、VVFケーブルの外装をはぎ取るときの施工として適切なものはどれか。

1. 充電部を露出したままにする
2. 心線や被覆の損傷を確認しない
3. 心線の絶縁被覆や導体に傷をつけない
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 3. 心線の絶縁被覆や導体に傷をつけない

VVFケーブルの外装をはぎ取るときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q413 4択

分野: 施工方法

アプリ演習用の短問として、リングスリーブ接続の後の施工として適切なものはどれか。

1. 充電部を露出したままにする
2. 圧着状態を確認し、必要な絶縁処理を行う
3. 心線や被覆の損傷を確認しない
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 2. 圧着状態を確認し、必要な絶縁処理を行う

リングスリーブ接続の後は、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q414 4択

分野: 施工方法

アプリ演習用の短問として、接地線を器具へ接続するときの施工として適切なものはどれか。

1. 緩みがないよう確実に接続する
2. 心線や被覆の損傷を確認しない
3. 充電部を露出したままにする
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 1. 緩みがないよう確実に接続する

接地線を器具へ接続するときには、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q415 4択

分野: 施工方法

アプリ演習用の短問として、アウトレットボックス内で接続するときの施工として適切なものはどれか。

1. 接続部を無理なく収め、絶縁処理を確実にする
2. 心線や被覆の損傷を確認しない
3. 適合工具や適合材料を確認しない
4. 充電部を露出したままにする

答え・解説

正答: 1. 接続部を無理なく収め、絶縁処理を確実にする

アウトレットボックス内で接続するときには、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q416 4択

分野: 施工方法

現場での器具選定を想定して、屋外コンセントを施工するときの施工として適切なものはどれか。

1. 充電部を露出したままにする
2. 適合工具や適合材料を確認しない
3. 心線や被覆の損傷を確認しない
4. 防雨形など使用場所に適した器具を選ぶ

答え・解説

正答: 4. 防雨形など使用場所に適した器具を選ぶ

屋外コンセントを施工するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q417 4択

分野: 施工方法

現場での器具選定を想定して、湿気の多い場所で施工するときの施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. 適合工具や適合材料を確認しない
3. 充電部を露出したままにする
4. 防湿・防水性能や接地の必要性を確認する

答え・解説

正答: 4. 防湿・防水性能や接地の必要性を確認する

湿気の多い場所で施工するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q418 4択

分野: 施工方法

現場での器具選定を想定して、通線作業を行うときの施工として適切なものはどれか。

1. 適合工具や適合材料を確認しない
2. 充電部を露出したままにする
3. 心線や被覆の損傷を確認しない
4. 電線被覆を損傷しないよう過度な張力を避ける

答え・解説

正答: 4. 電線被覆を損傷しないよう過度な張力を避ける

通線作業を行うときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q419 4択

分野: 施工方法

現場での器具選定を想定して、端子ねじを締め付けるときの施工として適切なものはどれか。

1. 適合工具や適合材料を確認しない
2. 充電部を露出したままにする
3. 緩みや差込み不足がないよう確認する
4. 心線や被覆の損傷を確認しない

答え・解説

正答: 3. 緩みや差込み不足がないよう確認する

端子ねじを締め付けるときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q420 4択

分野: 施工方法

現場での器具選定を想定して、ケーブルを支持するときの施工として適切なものはどれか。

1. 適合工具や適合材料を確認しない
2. 充電部を露出したままにする
3. たるみや外力による損傷を防ぐよう固定する
4. 心線や被覆の損傷を確認しない

答え・解説

正答: 3. たるみや外力による損傷を防ぐよう固定する

ケーブルを支持するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q421 4択

分野: 施工方法

現場での器具選定を想定して、金属管を切断した後の施工として適切なものはどれか。

1. ばり取りを行い、必要に応じてブッシングなどで電線を保護する
2. 充電部を露出したままにする
3. 適合工具や適合材料を確認しない
4. 心線や被覆の損傷を確認しない

答え・解説

正答: 1. ばり取りを行い、必要に応じてブッシングなどで電線を保護する

金属管を切断した後は、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q422 4択

分野: 施工方法

現場での器具選定を想定して、VVFケーブルの外装をはぎ取るときの施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. 適合工具や適合材料を確認しない
3. 心線の絶縁被覆や導体に傷をつけない
4. 充電部を露出したままにする

答え・解説

正答: 3. 心線の絶縁被覆や導体に傷をつけない

VVFケーブルの外装をはぎ取るときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q423 4択

分野: 施工方法

現場での器具選定を想定して、リングスリーブ接続の後の施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. 充電部を露出したままにする
3. 圧着状態を確認し、必要な絶縁処理を行う
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 3. 圧着状態を確認し、必要な絶縁処理を行う

リングスリーブ接続の後は、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q424 4択

分野: 施工方法

現場での器具選定を想定して、接地線を器具へ接続するときの施工として適切なものはどれか。

1. 充電部を露出したままにする
2. 適合工具や適合材料を確認しない
3. 緩みがないよう確実に接続する
4. 心線や被覆の損傷を確認しない

答え・解説

正答: 3. 緩みがないよう確実に接続する

接地線を器具へ接続するときには、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q425 4択

分野: 施工方法

現場での器具選定を想定して、アウトレットボックス内で接続するときの施工として適切なものはどれか。

1. 接続部を無理なく収め、絶縁処理を確実にする
2. 心線や被覆の損傷を確認しない
3. 適合工具や適合材料を確認しない
4. 充電部を露出したままにする

答え・解説

正答: 1. 接続部を無理なく収め、絶縁処理を確実にする

アウトレットボックス内で接続するときには、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q426 4択

分野: 施工方法

施工前確認の場面で、屋外コンセントを施工するときの施工として適切なものはどれか。

1. 適合工具や適合材料を確認しない
2. 心線や被覆の損傷を確認しない
3. 充電部を露出したままにする
4. 防雨形など使用場所に適した器具を選ぶ

答え・解説

正答: 4. 防雨形など使用場所に適した器具を選ぶ

屋外コンセントを施工するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q427 4択

分野: 施工方法

施工前確認の場面で、湿気の多い場所で施工するときの施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. 適合工具や適合材料を確認しない
3. 充電部を露出したままにする
4. 防湿・防水性能や接地の必要性を確認する

答え・解説

正答: 4. 防湿・防水性能や接地の必要性を確認する

湿気の多い場所で施工するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q428 4択

分野: 施工方法

施工前確認の場面で、通線作業を行うときの施工として適切なものはどれか。

1. 充電部を露出したままにする
2. 適合工具や適合材料を確認しない
3. 電線被覆を損傷しないよう過度な張力を避ける
4. 心線や被覆の損傷を確認しない

答え・解説

正答: 3. 電線被覆を損傷しないよう過度な張力を避ける

通線作業を行うときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q429 4択

分野: 施工方法

施工前確認の場面で、端子ねじを締め付けるときの施工として適切なものはどれか。

1. 充電部を露出したままにする
2. 緩みや差込み不足がないよう確認する
3. 心線や被覆の損傷を確認しない
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 2. 緩みや差込み不足がないよう確認する

端子ねじを締め付けるときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q430 4択

分野: 施工方法

施工前確認の場面で、ケーブルを支持するときの施工として適切なものはどれか。

1. たるみや外力による損傷を防ぐよう固定する
2. 心線や被覆の損傷を確認しない
3. 充電部を露出したままにする
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 1. たるみや外力による損傷を防ぐよう固定する

ケーブルを支持するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q431 4択

分野: 施工方法

施工前確認の場面で、金属管を切断した後の施工として適切なものはどれか。

1. 適合工具や適合材料を確認しない
2. ばり取りを行い、必要に応じてブッシングなどで電線を保護する
3. 心線や被覆の損傷を確認しない
4. 充電部を露出したままにする

答え・解説

正答: 2. ばり取りを行い、必要に応じてブッシングなどで電線を保護する

金属管を切断した後は、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q432 4択

分野: 施工方法

施工前確認の場面で、VVFケーブルの外装をはぎ取るときの施工として適切なものはどれか。

1. 充電部を露出したままにする
2. 心線の絶縁被覆や導体に傷をつけない
3. 適合工具や適合材料を確認しない
4. 心線や被覆の損傷を確認しない

答え・解説

正答: 2. 心線の絶縁被覆や導体に傷をつけない

VVFケーブルの外装をはぎ取るときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q433 4択

分野: 施工方法

施工前確認の場面で、リングスリーブ接続の後の施工として適切なものはどれか。

1. 圧着状態を確認し、必要な絶縁処理を行う
2. 充電部を露出したままにする
3. 適合工具や適合材料を確認しない
4. 心線や被覆の損傷を確認しない

答え・解説

正答: 1. 圧着状態を確認し、必要な絶縁処理を行う

リングスリーブ接続の後は、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q434 4択

分野: 施工方法

施工前確認の場面で、接地線を器具へ接続するときの施工として適切なものはどれか。

1. 緩みがないよう確実に接続する
2. 適合工具や適合材料を確認しない
3. 心線や被覆の損傷を確認しない
4. 充電部を露出したままにする

答え・解説

正答: 1. 緩みがないよう確実に接続する

接地線を器具へ接続するときには、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q435 4択

分野: 施工方法

施工前確認の場面で、アウトレットボックス内で接続するときの施工として適切なものはどれか。

1. 適合工具や適合材料を確認しない
2. 接続部を無理なく収め、絶縁処理を確実にする
3. 充電部を露出したままにする
4. 心線や被覆の損傷を確認しない

答え・解説

正答: 2. 接続部を無理なく収め、絶縁処理を確実にする

アウトレットボックス内で接続するときには、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q436 4択

分野: 施工方法

材料拾い出しの場面で、屋外コンセントを施工するときの施工として適切なものはどれか。

1. 充電部を露出したままにする
2. 防雨形など使用場所に適した器具を選ぶ
3. 心線や被覆の損傷を確認しない
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 2. 防雨形など使用場所に適した器具を選ぶ

屋外コンセントを施工するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q437 4択

分野: 施工方法

材料拾い出しの場面で、湿気が多い場所で施工するときの施工として適切なものはどれか。

1. 適合工具や適合材料を確認しない
2. 充電部を露出したままにする
3. 心線や被覆の損傷を確認しない
4. 防湿・防水性能や接地の必要性を確認する

答え・解説

正答: 4. 防湿・防水性能や接地の必要性を確認する

湿気が多い場所で施工するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q438 4択

分野: 施工方法

材料拾い出しの場面で、通線作業を行うときの施工として適切なものはどれか。

1. 電線被覆を損傷しないよう過度な張力を避ける
2. 心線や被覆の損傷を確認しない
3. 充電部を露出したままにする
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 1. 電線被覆を損傷しないよう過度な張力を避ける

通線作業を行うときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q439 4択

分野: 施工方法

材料拾い出しの場面で、端子ねじを締め付けるときの施工として適切なものはどれか。

1. 緩みや差込み不足がないよう確認する
2. 適合工具や適合材料を確認しない
3. 充電部を露出したままにする
4. 心線や被覆の損傷を確認しない

答え・解説

正答: 1. 緩みや差込み不足がないよう確認する

端子ねじを締め付けるときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q440 4択

分野: 施工方法

材料拾い出しの場面で、ケーブルを支持するときの施工として適切なものはどれか。

1. 適合工具や適合材料を確認しない
2. 充電部を露出したままにする
3. 心線や被覆の損傷を確認しない
4. たるみや外力による損傷を防ぐよう固定する

答え・解説

正答: 4. たるみや外力による損傷を防ぐよう固定する

ケーブルを支持するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q441 4択

分野: 施工方法

材料拾い出しの場面で、金属管を切断した後の施工として適切なものはどれか。

1. ばり取りを行い、必要に応じてブッシングなどで電線を保護する
2. 心線や被覆の損傷を確認しない
3. 適合工具や適合材料を確認しない
4. 充電部を露出したままにする

答え・解説

正答: 1. ばり取りを行い、必要に応じてブッシングなどで電線を保護する

金属管を切断した後は、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q442 4択

分野: 施工方法

材料拾い出しの場面で、VVFケーブルの外装をはぎ取るときの施工として適切なものはどれか。

1. 心線の絶縁被覆や導体に傷をつけない
2. 充電部を露出したままにする
3. 適合工具や適合材料を確認しない
4. 心線や被覆の損傷を確認しない

答え・解説

正答: 1. 心線の絶縁被覆や導体に傷をつけない

VVFケーブルの外装をはぎ取るときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q443 4択

分野: 施工方法

材料拾い出しの場面で、リングスリーブ接続の後の施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. 充電部を露出したままにする
3. 圧着状態を確認し、必要な絶縁処理を行う
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 3. 圧着状態を確認し、必要な絶縁処理を行う

リングスリーブ接続の後は、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q444 4択

分野: 施工方法

材料拾い出しの場面で、接地線を器具へ接続するときの施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. 緩みがないよう確実に接続する
3. 充電部を露出したままにする
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 2. 緩みがないよう確実に接続する

接地線を器具へ接続するときには、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q445 4択

分野: 施工方法

材料拾い出しの場面で、アウトレットボックス内で接続するときの施工として適切なものはどれか。

1. 適合工具や適合材料を確認しない
2. 接続部を無理なく収め、絶縁処理を確実にする
3. 心線や被覆の損傷を確認しない
4. 充電部を露出したままにする

答え・解説

正答: 2. 接続部を無理なく収め、絶縁処理を確実にする

アウトレットボックス内で接続するときには、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q446 4択

分野: 施工方法

分電盤まわりを確認する場面で、屋外コンセントを施工するときの施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. 充電部を露出したままにする
3. 適合工具や適合材料を確認しない
4. 防雨形など使用場所に適した器具を選ぶ

答え・解説

正答: 4. 防雨形など使用場所に適した器具を選ぶ

屋外コンセントを施工するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q447 4択

分野: 施工方法

分電盤まわりを確認する場面で、湿気の多い場所で施工するときの施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. 適合工具や適合材料を確認しない
3. 充電部を露出したままにする
4. 防湿・防水性能や接地の必要性を確認する

答え・解説

正答: 4. 防湿・防水性能や接地の必要性を確認する

湿気の多い場所で施工するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q448 4択

分野: 施工方法

分電盤まわりを確認する場面で、通線作業を行うときの施工として適切なものはどれか。

1. 電線被覆を損傷しないよう過度な張力を避ける
2. 適合工具や適合材料を確認しない
3. 心線や被覆の損傷を確認しない
4. 充電部を露出したままにする

答え・解説

正答: 1. 電線被覆を損傷しないよう過度な張力を避ける

通線作業を行うときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q449 4択

分野: 施工方法

分電盤まわりを確認する場面で、端子ねじを締め付けるときの施工として適切なものはどれか。

1. 緩みや差込み不足がないよう確認する
2. 適合工具や適合材料を確認しない
3. 充電部を露出したままにする
4. 心線や被覆の損傷を確認しない

答え・解説

正答: 1. 緩みや差込み不足がないよう確認する

端子ねじを締め付けるときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q450 4択

分野: 施工方法

分電盤まわりを確認する場面で、ケーブルを支持するときの施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. たるみや外力による損傷を防ぐよう固定する
3. 充電部を露出したままにする
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 2. たるみや外力による損傷を防ぐよう固定する

ケーブルを支持するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q451 4択

分野: 施工方法

分電盤まわりを確認する場面で、金属管を切断した後の施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. ばり取りを行い、必要に応じてブッシングなどで電線を保護する
3. 充電部を露出したままにする
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 2. ばり取りを行い、必要に応じてブッシングなどで電線を保護する

金属管を切断した後は、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q452 4択

分野: 施工方法

分電盤まわりを確認する場面で、VVFケーブルの外装をはぎ取るときの施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. 充電部を露出したままにする
3. 適合工具や適合材料を確認しない
4. 心線の絶縁被覆や導体に傷をつけない

答え・解説

正答: 4. 心線の絶縁被覆や導体に傷をつけない

VVFケーブルの外装をはぎ取るときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q453 4択

分野: 施工方法

分電盤まわりを確認する場面で、リングスリーブ接続の後の施工として適切なものはどれか。

1. 充電部を露出したままにする
2. 心線や被覆の損傷を確認しない
3. 適合工具や適合材料を確認しない
4. 圧着状態を確認し、必要な絶縁処理を行う

答え・解説

正答: 4. 圧着状態を確認し、必要な絶縁処理を行う

リングスリーブ接続の後は、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q454 4択

分野: 施工方法

分電盤まわりを確認する場面で、接地線を器具へ接続するときの施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. 充電部を露出したままにする
3. 緩みがないよう確実に接続する
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 3. 緩みがないよう確実に接続する

接地線を器具へ接続するときには、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q455 4択

分野: 施工方法

分電盤まわりを確認する場面で、アウトレットボックス内で接続するときの施工として適切なものはどれか。

1. 接続部を無理なく収め、絶縁処理を確実にする
2. 心線や被覆の損傷を確認しない
3. 充電部を露出したままにする
4. 適合工具や適合材料を確認しない

答え・解説

正答: 1. 接続部を無理なく収め、絶縁処理を確実にする

アウトレットボックス内で接続するときには、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q456 4択

分野: 施工方法

屋内配線の確認として、屋外コンセントを施工するときの施工として適切なものはどれか。

1. 適合工具や適合材料を確認しない
2. 防雨形など使用場所に適した器具を選ぶ
3. 充電部を露出したままにする
4. 心線や被覆の損傷を確認しない

答え・解説

正答: 2. 防雨形など使用場所に適した器具を選ぶ

屋外コンセントを施工するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q457 4択

分野: 施工方法

屋内配線の確認として、湿気が多い場所で施工するときの施工として適切なものはどれか。

1. 適合工具や適合材料を確認しない
2. 心線や被覆の損傷を確認しない
3. 充電部を露出したままにする
4. 防湿・防水性能や接地の必要性を確認する

答え・解説

正答: 4. 防湿・防水性能や接地の必要性を確認する

湿気が多い場所で施工するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q458 4択

分野: 施工方法

屋内配線の確認として、通線作業を行うときの施工として適切なものはどれか。

1. 電線被覆を損傷しないよう過度な張力を避ける
2. 充電部を露出したままにする
3. 適合工具や適合材料を確認しない
4. 心線や被覆の損傷を確認しない

答え・解説

正答: 1. 電線被覆を損傷しないよう過度な張力を避ける

通線作業を行うときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q459 4択

分野: 施工方法

屋内配線の確認として、端子ねじを締め付けるときの施工として適切なものはどれか。

1. 心線や被覆の損傷を確認しない
2. 適合工具や適合材料を確認しない
3. 緩みや差込み不足がないよう確認する
4. 充電部を露出したままにする

答え・解説

正答: 3. 緩みや差込み不足がないよう確認する

端子ねじを締め付けるときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。

Q460 4択

分野: 施工方法

屋内配線の確認として、ケーブルを支持するときの施工として適切なものはどれか。

1. 適合工具や適合材料を確認しない
2. 充電部を露出したままにする
3. たるみや外力による損傷を防ぐよう固定する
4. 心線や被覆の損傷を確認しない

答え・解説

正答: 3. たるみや外力による損傷を防ぐよう固定する

ケーブルを支持するときは、安全性・接続信頼性・被覆保護を確保する施工が必要。